



## Newsletter No. 12

# 歴史都市を守る 「文化遺産防災学」推進拠点 立命館大学 グローバル COE プログラム

### 目 次

- あなたも博士課程後期課程で学びませんか? ..... 1  
立命館大学「文化遺産防災学」専門家育成プログラムのご案内
- 研究トピック「伝統的木造建造物に使われている柱の樹齢」... 2  
伊津野和行（立命館大学理工学研究科教授）
- キックオフミーティングが開催されました ..... 3
- 歴史都市防災シンポジウム '08 が開催されました ..... 4
- 文化遺産防災学「ことはじめ」篇が刊行されました ..... 5
- 文化遺産防災デザインコンテストを開催します ..... 6
- 歴史都市防災シンポジウム '09 を開催します ..... 6

2008年12月号

## あなたも博士課程後期課程で学びませんか？

### ～立命館大学「文化遺産防災学」専門家育成プログラムのご案内～

立命館大学グローバル COE『歴史都市を守る「文化遺産防災学」推進拠点』では、一緒に文化遺産防災の研究に取り組む人材を募集しています。貴重な文化遺産を自然災害から守り、未来へ受け継ぐための研究は、まだまだ端緒に付いたばかりです。あなたの新しいアイデアや研究活動を、実際の現場やフィールドに活かすことができる可能性があります。立命館大学大学院理工学研究科では、柱となる研究分野の一つとして「歴史都市防災」を挙げています。博士課程後期課程で学び、博士の学位を得て、国際社会の中であなたの能力を活かして下さい。

社会人の方も大歓迎です。文化遺産保護を担当して来られた方はその防災について、防災担当の方は文化遺産の保護について深く学ぶことができ、将来のキャリアアップにも役立つでしょう。

- 各種インターンシップ、留学制度などをを利用して、実践的な能力を磨くことができます。
- ユネスコが認定したユネスコチャニア国際研修プログラムの聴講で、国際的な問題を身近に学ぶことができます。
- 理工系科目だけではなく、文系社系科目も受講することができます。
- いろいろな文化遺産とこれを取り巻く現場での防災対策を学ぶことができます。
- 年額 50 万円の研究補助費が支給されます。今年度実績 10 名。
- RA（リサーチアシスタント）として月額 20 万円で雇用されるチャンスもあります。今年度実績 4 名。
- 国際会議発表渡航費の補助もあります。今年度実績：第 14 回世界地震工学会議（中国）2 名、台日歴史都市防災計画学術交流研討会（台湾）3 名。



写真1 インターンシップでの風景

次のいずれかに該当すれば出願資格があります。

- (1) 修士の学位を有する者または 2009 年 3 月までに修士の学位を授与される見込みの者

- (2) 修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認められる者

- (3) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者

試験科目としては、面接および英語の筆記試験になります。社会人推薦入学試験（面接のみ）もあります。今年度は 2009 年 2 月 12 日～13 日が試験日、出願期間は 1 月 28 日までです。詳しくは大学のホームページをご覧下さい。理工学研究科の環境都市型という受験形態で受験してください。

ホームページ [http://www.ritsumei.jp/gr/index\\_j.html](http://www.ritsumei.jp/gr/index_j.html)

本推進拠点で学びたいと思われる方は、なるべく早く、最終ページに記載されています G-COE 事務局、もしくは各メンバーまでご連絡ください。

## ■研究トピック■

## 伝統的木造建造物に使われている柱の樹齢

伊津野和行（立命館大学理工学研究科教授）

京都の清水寺に1633年に建造された奥の院という建物があります。この建物が2005年に修復された際、その柱に使われていたヒノキの樹齢を、放射性炭素年代測定によって調べました。その結果、柱として使われてから370年ほど経つこの木の年齢が、約720年だということがわかりました。

つまり、建設時に樹齢350年ほどの木を使ったということです。清水寺では現在でも、400年後のことを見据えて数ヶ所で木を育てておられます。文化遺産を災害から守るためにには、文化遺産そのものだけでなく、その文化遺産を維持していく人々や森も災害から守ることが必要だということがよくわかります。

なお、強度試験をしましたら、この700歳以上の木材は新しいものと遜色ない強度を発揮しました。木という材料のすばらしさを改めて感じます。



写真2 清水寺「奥の院」

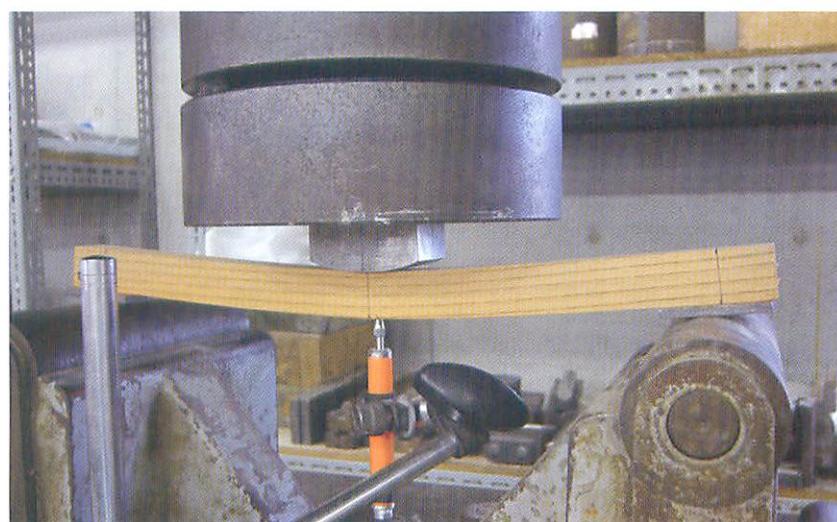


写真3 強度試験の様子

## キックオフミーティングが開催されました

2008年8月23日（土）に、立命館大学衣笠キャンパス創思館において、グローバルCOEプログラム「歴史都市を守る『文化遺産防災学』推進拠点」キックオフミーティングを開催しました。

川口総長の挨拶と、大窪拠点リーダーの挨拶とプログラムの紹介のあと、中川武・早稲田大学教授より「アンコール遺跡救済のための国際協力と日本の役割」と題した講演をいただき、文化遺産保護における国際協力の重要性や本拠点の活動に対する期待のコメントをいただきました。

その後、各プロジェクトグループおよび国際連携委員会の活動計画と、文化遺産防災を取り巻く国内外の動向についての講演をおこないました。最後に、室崎益輝・関西学院大学教授より、本拠点の今後の活動に対する期待や要望のコメントをいただきました。



写真4 会場の様子



写真5 総長の挨拶

## 歴史都市防災シンポジウム '08 が開催されました

2008年10月4日（土）に、立命館大学衣笠キャンパス志学館において、歴史都市防災シンポジウム'08を開催しました。歴史都市や文化遺産の防災に関する25件の研究発表がおこなわれ、活発な討議がおこなわれました。

また全体討論会では、本拠点の活動成果となる「文化遺産災害対策パッケージ」のあり方について、拠点リーダー、各プロジェクトグループおよび教育検討委員会の代表によるパネルディスカッションがおこなわれ、文化遺産災害対策パッケージの枠組みや内容についての議論がおこなわれました。学内外から64名の参加者があり、歴史都市防災に関する関心の高さがうかがえました。

なお、シンポジウムで発表された研究成果については「歴史都市防災論文集 Vol.2」として刊行しております。ご希望の方にはお送りさせていただきますので、最終ページに記載されています事務局までお問い合わせください。

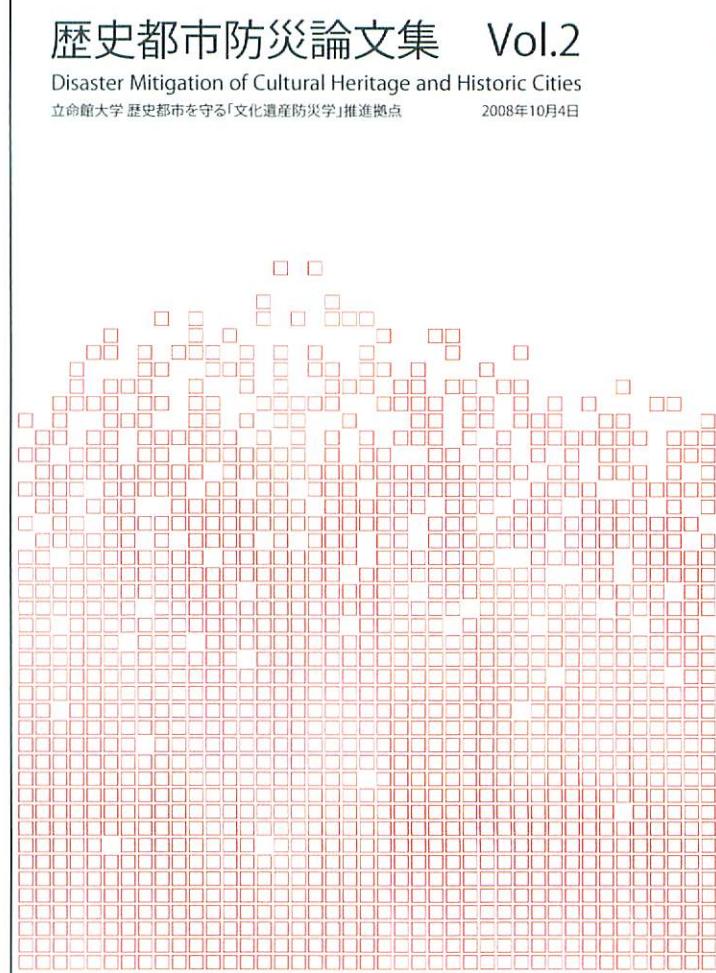


図1 歴史都市防災論文集 Vol.2 (表紙)

# 文化遺産防災学「ことはじめ」篇が刊行されました

本グローバル COE の前身、21世紀 COE プログラム「文化遺産を核とした歴史都市の防災研究拠点」が終了いたしました。その成果をわかりやすく社会に還元する目的で、本書を刊行いたしました。

まず第1部において、「文化遺産防災学 1.0」と題して、文化遺産防災学の成立にいたる考え方、それを元にした 21世紀 COE プログラムの取り組み、文化遺産防災学の意義などを取り上げました。次に第2部として、「文化財研究と防災研究の間で」と題し、京都を 5 地区に分けて、そこにおける研究成果を示しました。第3部は、「文化遺産防災学の主要テーマ」ですが、ここでは様々な角度からこの課題に切り込みました。最後の第4部では、「文化遺産防災学 1.0 の成果一覧」を示しています。

ぜひ書店で手にとってご覧下さい。

著者：立命館大学文化遺産防災学「ことはじめ」篇出版委員会

出版社：アドスリー

ISBN：978-4-900659-91-9

定価：(本体 2,000 円+税)

## 目 次

### 「文化遺産防災学」誕生前夜 O.x の時代 (はじめに代えて)

### 第1部 文化遺産防災学 1.0

- I. 文化遺産と地震対策
- II. 21世紀 COE プログラムの概要
- III. 文化遺産防災の意義

### 第2部 文化財研究と防災研究の間で

- <清水寺から高台寺地区>
- <東山地区>
- <公家町から上七軒地区>
- <鴨川地区>
- <京都市域>

### 第3部 文化遺産防災学の主要テーマ

- I. 活断層と地震の長期評価
- II. 地震と火災
- III. 災害と情報
- IV. 仮設住宅
- V. 近代消防の導入
- VI. 地震と文化財の振動
- VII. 国際共同研究・国際研修

### 第4部 文化遺産防災学 1.0 の成果一覧

- I. 論文
- II. 口頭発表
- III. その他

### 文化遺産防災学 2.0 にむけて（おわりに代えて）

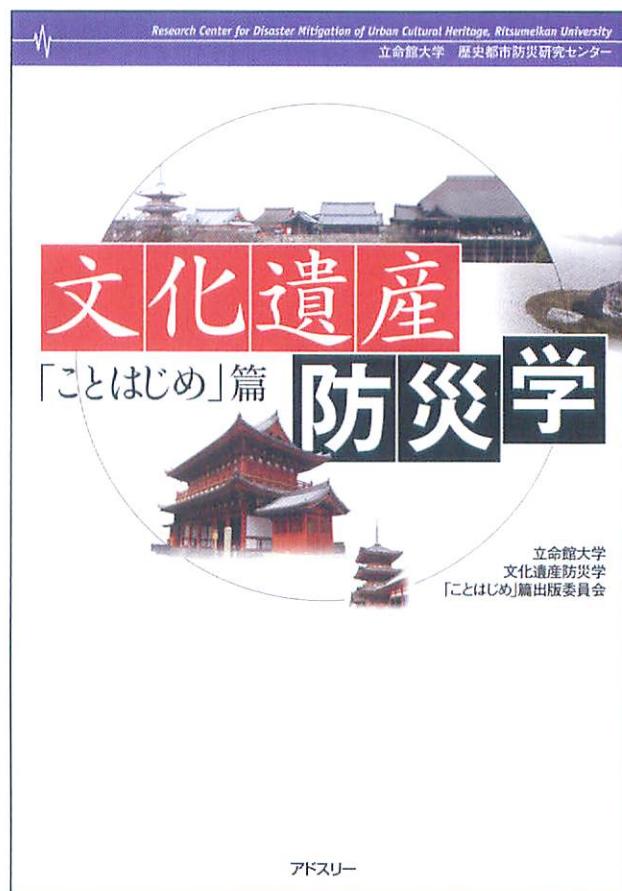


図2 文化遺産防災学「ことはじめ」篇（表紙）

## 文化遺産防災デザインコンテストを開催します

平常時にも生きるような文化遺産防災に関するデザインの提案を募集し、優秀な案に評価を与えるデザインコンテストを開催する予定です。コンテストの結果は、公開審査の議論や課題設定を含めた書籍として出版します。

スタディ・エリアを設定しますので、歴史都市と文化財の再生・保存・防災を総合的に考慮したアーバンデザインや、観光価値の向上に貢献する防災システムなどの提案を期待しています。2009年2月～5月頃の募集に向け、現在、詳細を検討中です。

今後、ホームページやポスターを通じて全国の皆さんにお知らせしますので、奮ってご応募のほどよろしくお願いします。

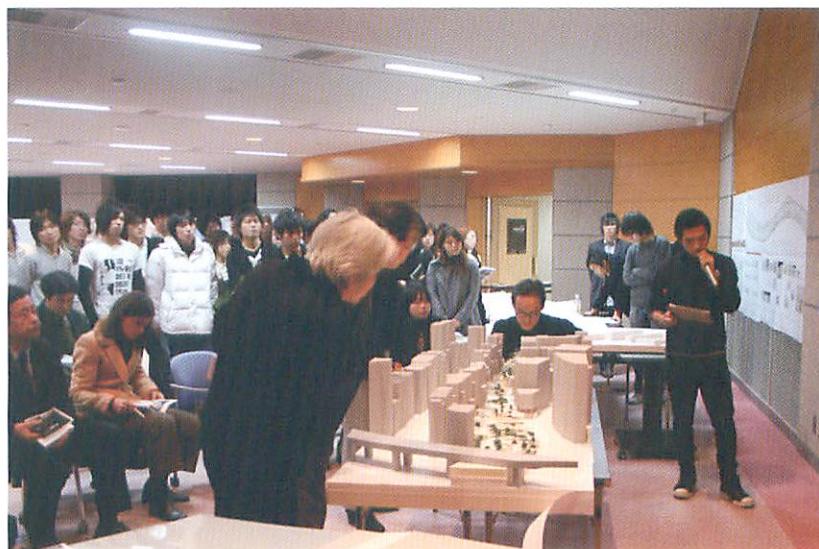


写真6 公開審査会のイメージ  
(立命館大学建築都市デザイン学科の卒業制作講評会より)

## 歴史都市防災シンポジウム'09を開催します

来年度、歴史都市防災シンポジウム'09を2009年6月20日（土）に開催し、査読付き論文集「歴史都市防災論文集」を発行します。場所は立命館大学の衣笠キャンパス（京都市）の予定です。論文募集のご案内を2009年3月頃に行いますので、多数の投稿をお願い申し上げます。

立命館大学 グローバル COE プログラム  
Newsletter No.12  
(2008年12月号)

発行

立命館大学グローバル COE プログラム

衣笠事務局（本部）：

立命館大学歴史都市防災研究センター  
〒 603-8341  
京都市北区小松原北町 58  
TEL: 075-467-8801  
FAX: 075-467-8825  
Email: rekibou@st.ritsumei.ac.jp



びわこ草津キャンパス事務局：

立命館大学 防災システム  
リサーチセンター 111号室  
〒 525-8577  
滋賀県草津市野路東 1-1-1  
TEL: 077-561-5083

